

Julabo Case Study

07

JULABO PRESTO® A40

10Lの反応容器を+20°Cから最大まで冷却する。



目的:

このケーススタディのテストではPRESTO®A40と10Lのガラス反応容器を接続し最大冷却試験を行います。
A40は2.0mのメタルホースと接続します。
A40は+20°Cから最大までの冷却運転を行います。

環境:

室温 +20°C
湿度 45%
電源 230V/50Hz

試験条件:

使用機種	ユラボ社製 PRESTO® A40
冷却能力	+20°C 1.2kW 0°C 0.9kW -20°C 0.6kW
加熱容量	2.7kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.40bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL40
反応容器	10Lガラス製反応容器(Normag) (容器内にはユラボ社製サーマルHL40を 10L充填しています)
温度制御	外部制御(ICC)



試験結果:

次ページのグラフをご参照下さい。
A40は+20°Cから最大-32°Cまで冷却するのに4時間で達成しました。

その他機能:

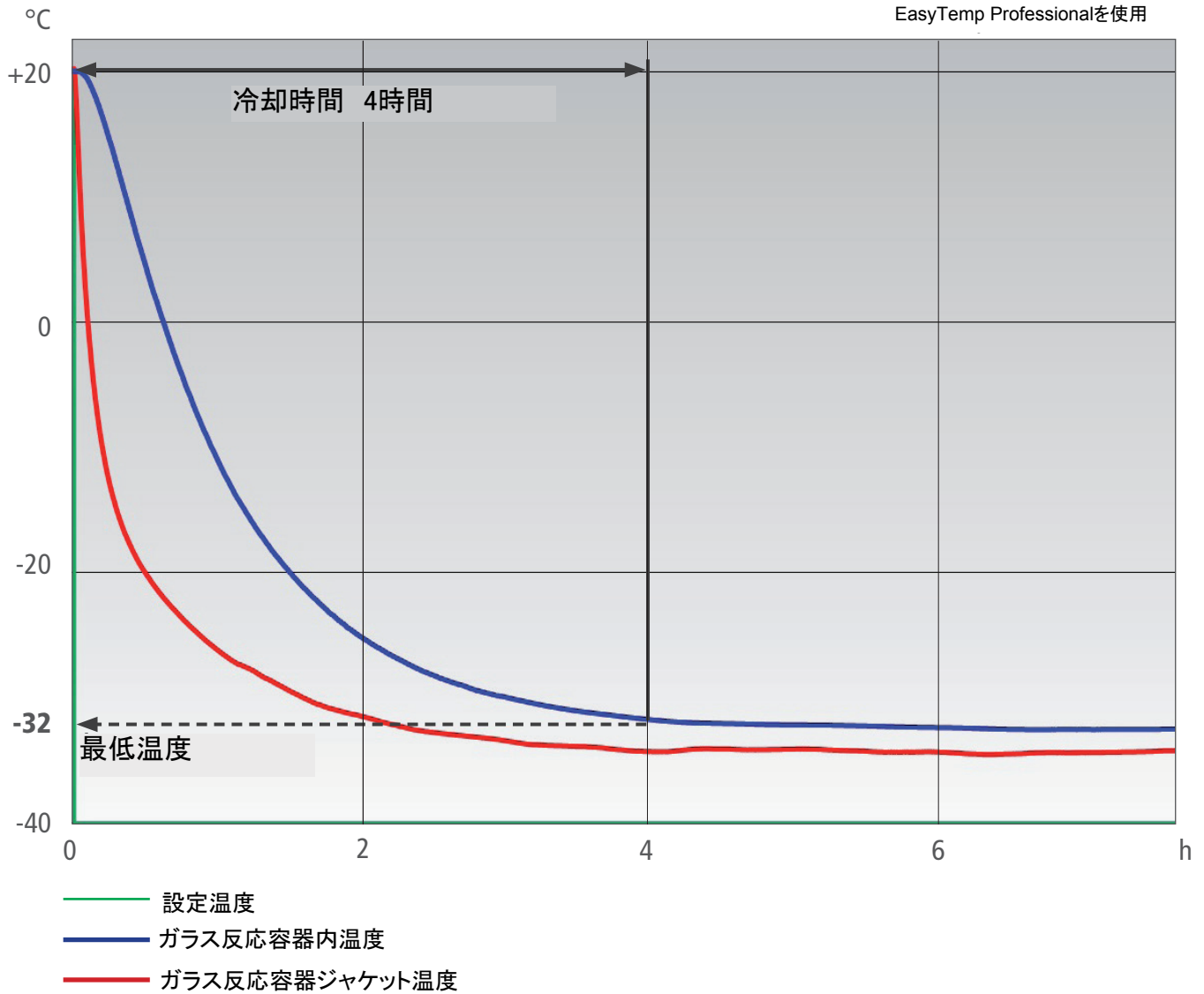
テフロンコーティングされたPt100センサーを使用しています。

次のページにも
情報があります>
>



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0

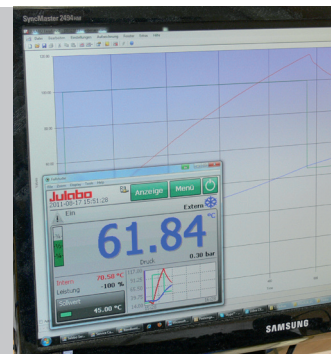
EasyTemp Professionalを使用



その他機能:
ポンプ圧力を調整
するためのオプシ
ョンがあります。
ユーザーにて、ポ
ンプ圧力を設定す
る事が出来ます。



その他機能:
PRESTOの機能
をイーサネットイン
ターフェイスにて操
作する事が可能で
す。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0